

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



1. マーケット・レート

			10月14日	10月15日	10月16日	10月17日	10月18日	Net Chg
Forex	USD/BRL	Spot	2,1730	2,1830	2,1770	2,1610	2,1750	+0,0140
	USD/YEN	Spot	98,65	98,21	98,84	97,85	97,72	-0,1300
Swap	EUR/USD	Spot	1,3569	1,3517	1,3532	1,3673	1,3684	+0,0011
	BRL/YEN	Spot	45,19	45,09	45,34	45,47	45,03	-0,4400
Stock	Dollar Clean	6MTH(p.a.)	1,33	1,33	1,33	1,30	1,29	-0,0179
		1Year(p.a.)	1,58	1,58	1,56	1,50	1,45	-0,0468
Real Interest	6MTH(p.a.)	9,92	9,88	9,90	9,97	9,99	+0,0185	
	1Year(p.a.)	10,26	10,25	10,25	10,30	10,39	+0,0848	
Stock	Bovespa		54.171	54.981	55.973	55.358	55.378	+20,33
Bond	CDS Brazil 5y	149,07	146,66	145,20	146,67	150,00	+3,3350	
	Global 40	117,050	117,500	117,250	117,350	117,500	+0,1500	

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインデイケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィcerまでお問い合わせ下さい。



2. 主要経済指標

3. 要人コメント

イベント	予想	実績	前回	なし
IGP-M Inflation 2nd Preview	0.84%	0.91%	1.36%	
IBGEインフレ率IPCA-15(前月比)	0.41%	0.48%	0.27%	
IBGEインフレ率IPCA-15(前年比)	5.69%	5.75%	5.93%	

4. 週間市況、トピックス

- 今週の為替相場は U\$1=R\$2.1750 で寄り付いた。
- 週初は米国市場が祝日で休場となりレアル相場の流動性は極めて低い展開となる中、レアルは寄付き後伯中銀によるドル売り介入を受けて 2.17 台を上抜け上昇した。しかし直後に伯中銀が今月末に満期を迎えるドル売り Swap ポジションをロールしないとの報道を受けてレアルは一気に週間安値となる U\$1=R\$2.1940 を付けた。
- 翌 15 日には米上院指導部が連邦債務上限の引き上げで合意に近づいたとの観測を受けてドル買いが見られるとレアルは 2.18 台後半まで反落したが、米リード院内総務が債務上限を巡る下院案を非難したことによってドルは売りに転じ、レアルは反発した。
- 週央には米上院指導部が債務上限引き上げをめぐる協議を再開すると明らかにしたことからデフォルト回避への楽観的な見方が強まり、リスク資産の買いが見られレアルも 2.15 台後半まで買い進まれた。しかし、伯中銀が通常毎日午後 2 時 30 分までに行う翌日のドル売り介入通知を予定通り行わなかったことから市場では翌日のドル売り介入が実施されないと疑惑が強まり、レアルは反落した。
- 翌 17 日には前晩マーケット時間終了後に伯中銀が本日のドル売り介入実施を通知したことからレアルは買い戻された。
- 週末にかけてレアルは週間高値となる U\$1=R\$2.1470 まで続伸した後、大口の資金流出の噂が聞かれるとレアルは 2.17 台後半まで反落、結局 U\$1=R\$2.1750 で越週した。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成されたものですが、その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生じるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



5.来週発表される主要経済指標

日付	イベント	期間	予想	前回
10/21	貿易収支(週次)	Oct 20	--	\$718M
10/22	税率	Sep	84250M	83956M
10/23	FGV消費者信頼感	Oct	--	114.2
10/23	FGV CPI IPC-S	Oct 22	0.50%	0.45%
10/24	失業率	Sep	5.4%	5.3%
10/25	FIPE CPI-週次	Oct 23	0.40%	0.37%
10/25	経常収支	Sep	-\$2350M	-\$5505M
10/25	対内直接投資	Sep	\$4800M	\$3775M

6.来週の為替市場注目点

予想相場レンジ : 2.13—2.23

今週は米国で14日が祝日で市場が休場となり、レアル相場の流動性は極めて低い展開となった。米予算協議を巡って市場ではリスクオフモードが見られた後、要約16日間に及んだ政府機関閉鎖が解除されデフォルトも回避された。その結果リスク資産の買い戻しが見られ、レアルも4か月振りの高水準となる2.1470まで買い戻される展開となった。レアル高傾向を受けて伯中銀はドル売り介入プログラムを変更する可能性があるとの声も市場で聞かれており、レアル相場のボラティリティーを高めているが、当局からは何も発表されていない。来週は米国では政府機関閉鎖で公表が遅れていた経済指標のうち、9月の雇用統計が発表され、結果次第では資産購入縮小の時期が近くなる可能性がある。国内ではリブラ油田開発入札が予定されており、150億レアル相当の資金流入が見られる可能性が高く、足元ではレアル高傾向が続くことが予想される。